

テーマ「指導者」

梅雨も明けまして、非常に暑い夏になりそうですね。熱中症も有名になり、皆さんも対策をしていると思いますが、油断大敵。十分な水分補給だけでなく、塩分補給が大切です。

今日のテーマは指導者です。母校聖マリアンナ医大の先輩である伊野美幸教授の講義の受け売りであることをまずはお断りします(御本人からも使用許可をもらってます)。

講義では「指導医」としてというテーマでしたが、同じことですから敢えてここでは指導者とします。私も講義ではいつも良い指導者、悪い指導者について皆から1つずつ言ってもらい、白盤に書いて皆と討議する方式をとっていますが、講義でも全く同じやり方でした。新しい用語としてP (Performance)、M (Maintenance)という言葉が出ました。Pとは私が以前から言っている「問題解決能力」のことかなどと思います(勝手に理解してすみません、伊野先輩)。Mは話、悩みなどを聞いて「ガス抜き」することだと思います。この「PとM」どちら共うまくできることが指導者、すなわちリーダーの資質だということだと思います。

さらに新しく興味を持ったことは、ひとつは「PとM」を自分自身にも実践すること、さらには上司に対しても煽てたり、いろいろ工夫して実践することと言うことです。実際には私もすでにやっていることですが、このことを実際の指導者に対して声を大にして言わなければならないと感じました。

十年ほど前に新臨床研修医制度が始まり、病院管理者、プログラム責任者、指導医と三本立ての缶詰め講習会に参加してきました。と同時に病院長として実際に病院を運営して行く上で、このひとりごとを書きながら、自己分析しながらやって来たつもりです。伊野先生のようにこれを特化した科の教授がおられることはこれからの日本人に合った医学教育を進めるに当たって、頼もしい限りです。

平成二十五年七月八日 藤井茂

第七章

